

愛媛県内の声かけ・つきまとい等の発生状況(令和5年統計)

1 発生状況

愛媛県警察が認知した声かけ・つきまとい等の発生は、651件(うち子供対象が383件)である。

事案別にみると、「声かけ」、「つきまとい」に次いで「のぞき・盗撮」が多い。

- 「声かけ」が210件(32.3%)。
- 「つきまとい」が118件(18.1%)。
- 「のぞき・盗撮」が81件(12.4%)。
- 令和4年中と比べ、不審者情報の認知数が189件減少している。

※ 「子供」は、高校生までの男女をいう。

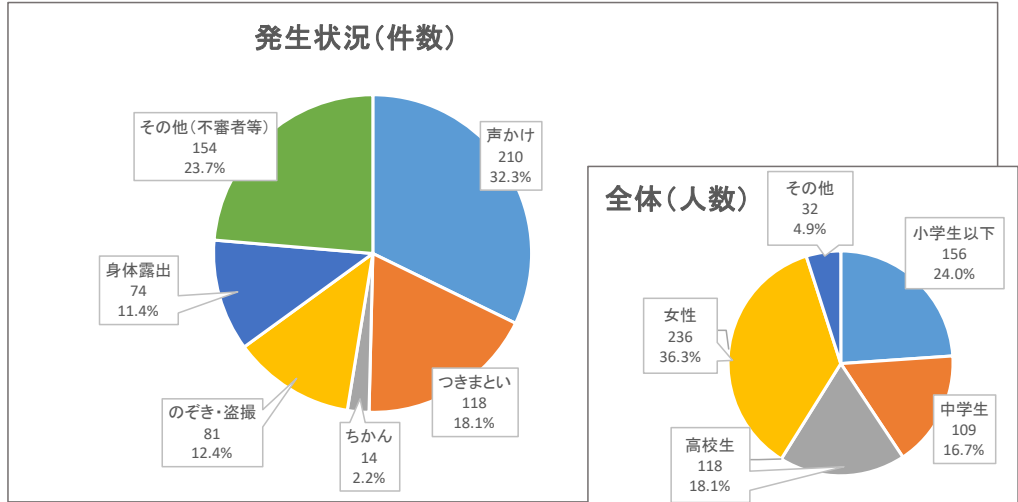
※ 声かけ・つきまとい等とは、「声かけ、つきまとい、ちかん、のぞき・盗撮、身体露出、その他(不審者等)」をいう。

※ 「その他(不審者等)」には、容姿の写真撮影、暴行・脅迫、住居侵入、挙動不審者等が含まれる。

※ %表示は小数点以下第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。(以下、同じ)

事案別	合計
声かけ	210
つきまとい	118
ちかん	14
のぞき・盗撮	81
身体露出	74
その他(不審者等)	154
計	651

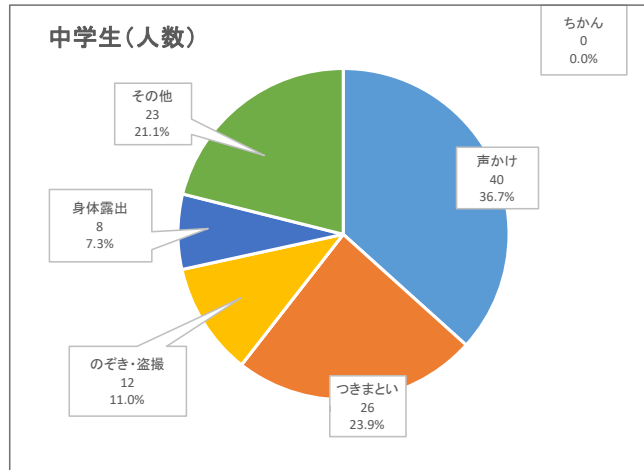
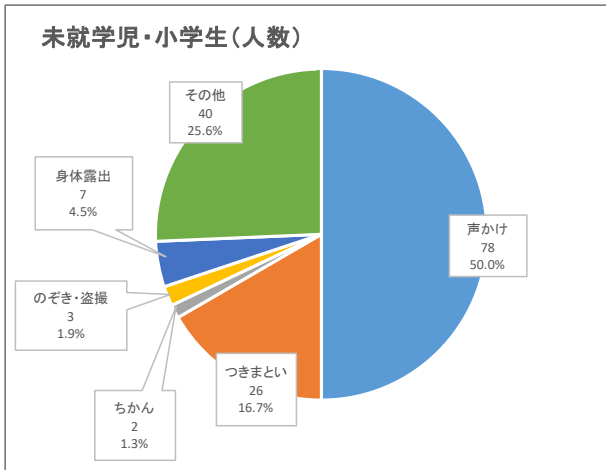
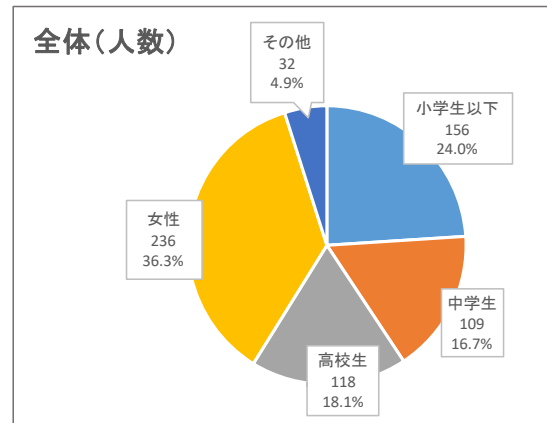
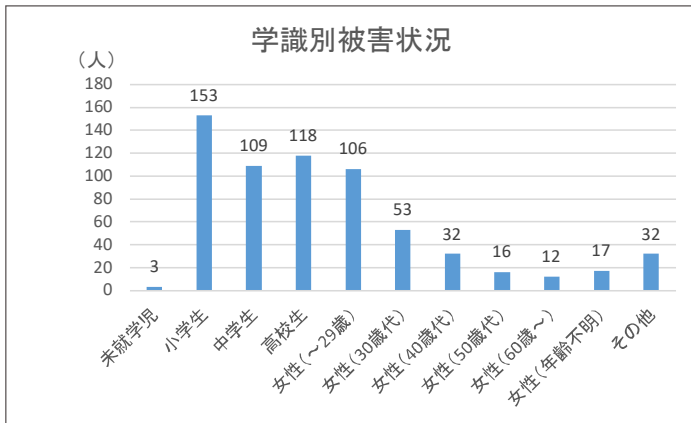
その他の内訳	合計
暴行・脅迫	17
写真撮影	67
住居侵入等	6
挙動不審者等	64
計	154

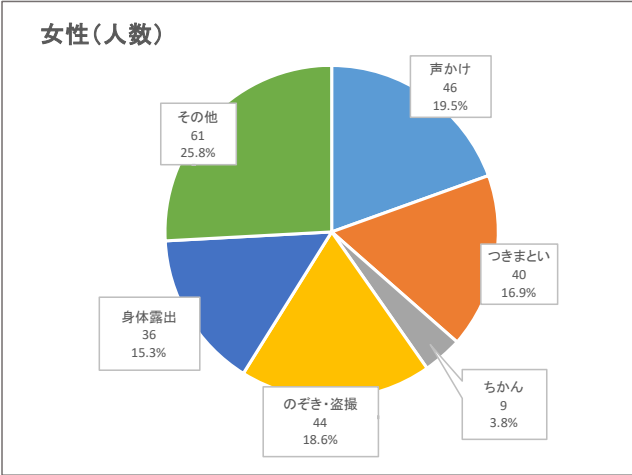
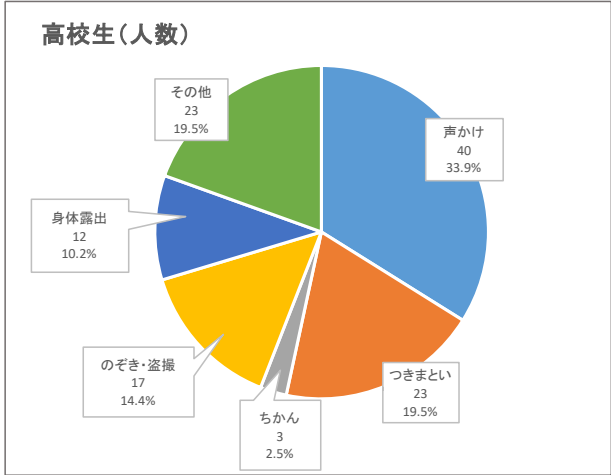


2 被害状況(学識別)

被害状況を学識別にみると、

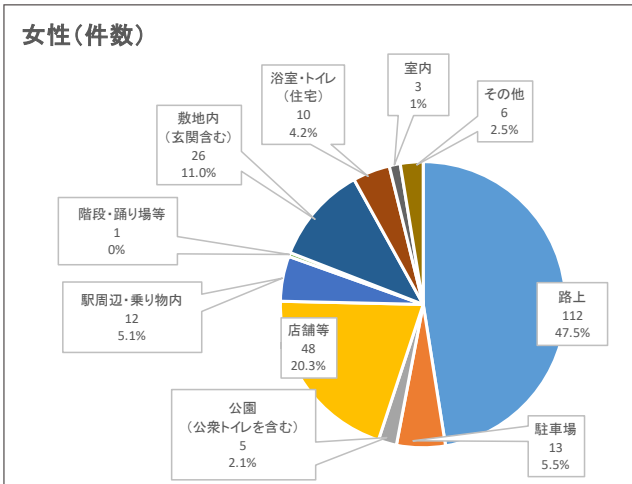
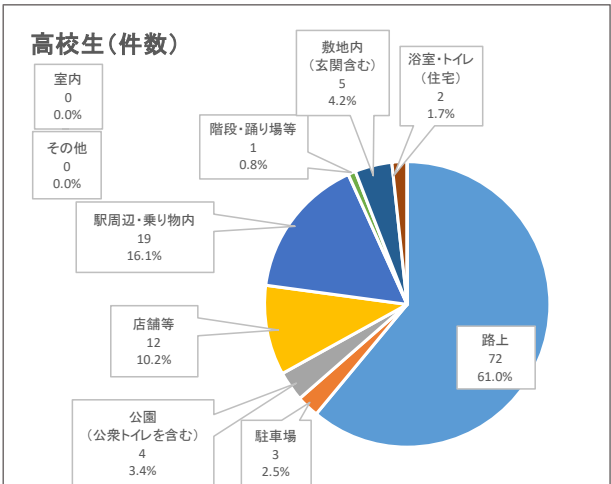
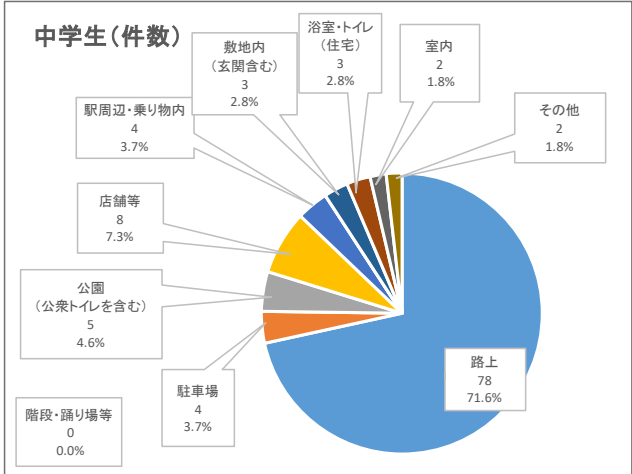
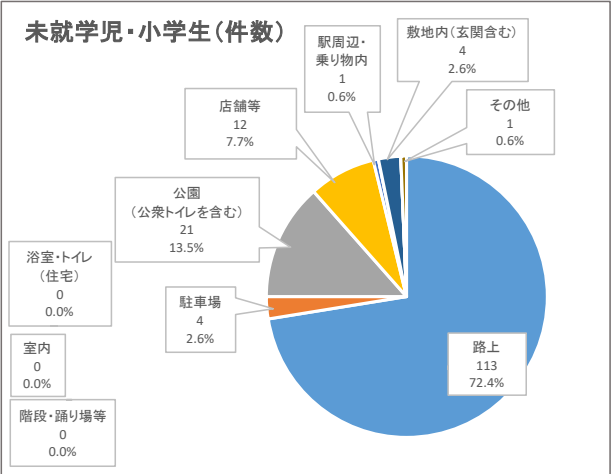
- 未就学児と小学生を合わせて156人(全体の24.0%)〜「声かけ」と「つきまとい」が約67%を占めている。
- 中学生が109人(全体の16.7%)〜「声かけ」と「つきまとい」が約61%を占めている。
- 高校生が118人(18.1%)〜小中学生と比較して「のぞき・盗撮」や「身体露出」、「ちかん」に遭う割合が増加している。
- 女性の認知は236人(36.3%)〜子供に比べて「のぞき・盗撮」「身体露出」に遭う割合が多い。





3 発生場所(学識別)

- 未就学児と小学生～「路上」での発生が113件(72.4%)と最も多く、次いで、「公園」が21件(13.5%)と多い。
- 中学生～「路上」での発生が78件(71.6%)と最も多く、路上以外の場所での発生に大きな差は認められない。
- 高校生～「路上」での発生が72件(61.0%)と最も多く、中学生以下と比べると「駅周辺・乗物内」での発生割合が多い。
- 女性～「路上」での発生が半数近くを占めるものの、店舗や敷地内、駐車場で被害も目立っている。

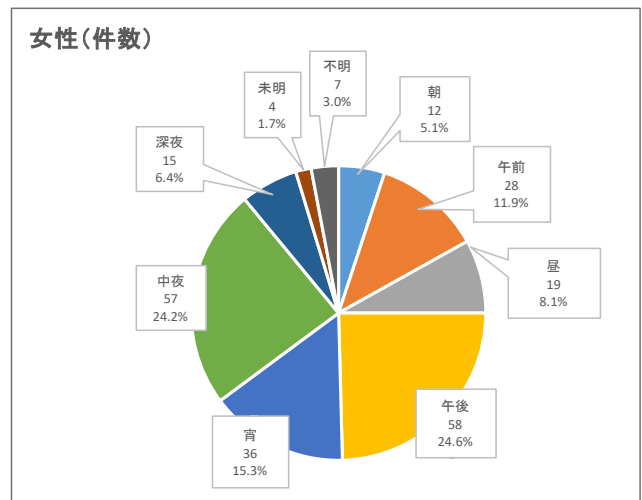
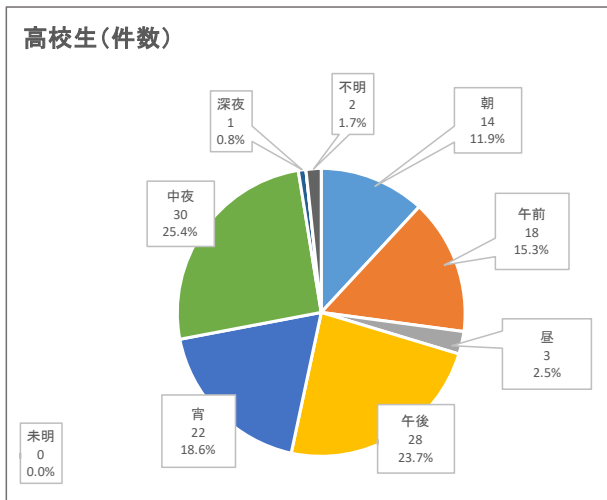
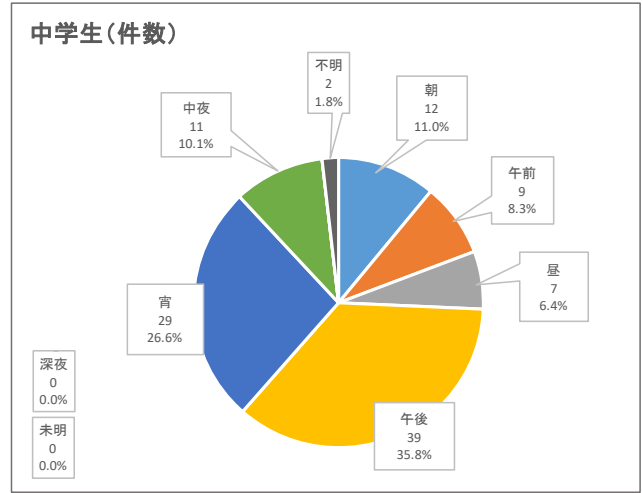
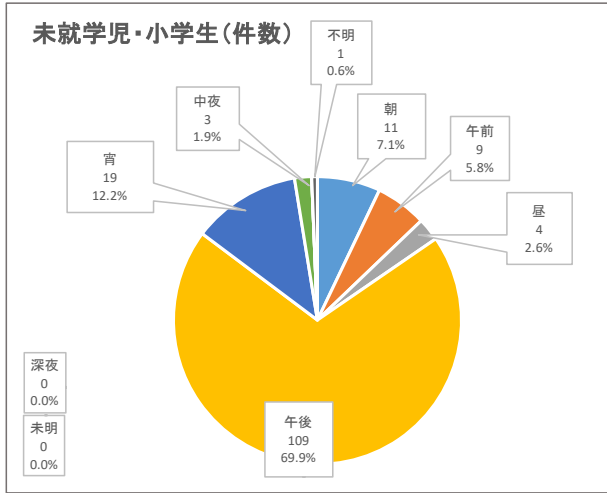


4 発生時間帯(学識別)

発生時間は、被害者の活動時間に伴い、

- 未就学児と小学生～「午後」に集中しており、午後から宵の時間帯が約70%を占めている。
- 中学生～小学生同様、「午後」から「宵」までの時間帯が多いが、小学生と比べ朝から昼にかけての割合が増加している。
- 高校生～小中学生と比べ、「中夜」の時間帯の発生が増加している。
- 女性～「午後」から「中夜」までの時間帯で約64%を占めているが、その他の時間帯も多岐にわたって発生している。

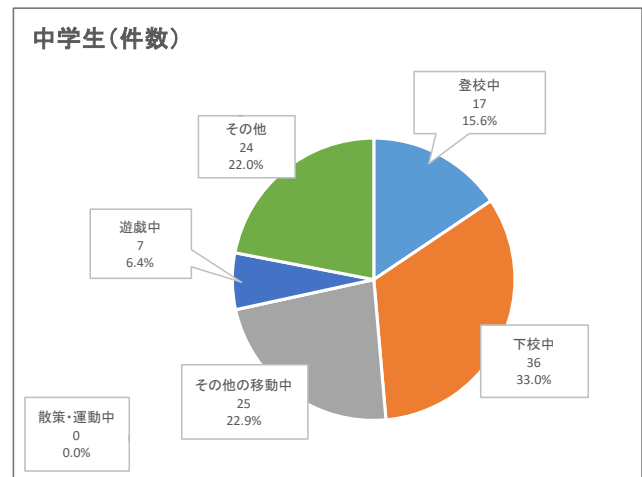
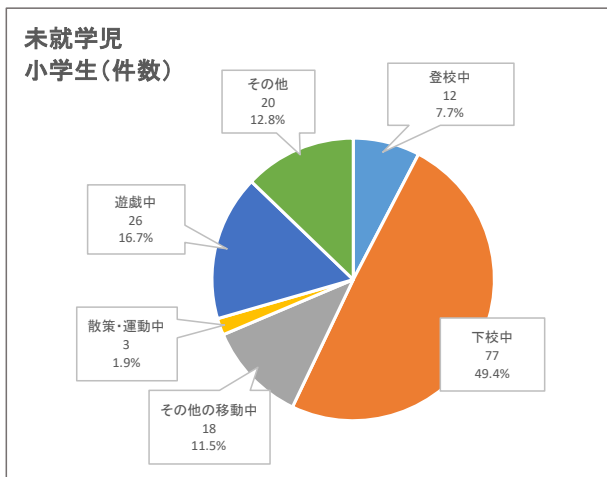
※時間帯区分：朝(日の出～9時)、午前(9～11時)、昼(11～13時)、午後(13時～日没1時間前)、宵(日没前後1時間)、中夜(日没1時間後～23時)、深夜(23～3時)、未明(3時～日の出)

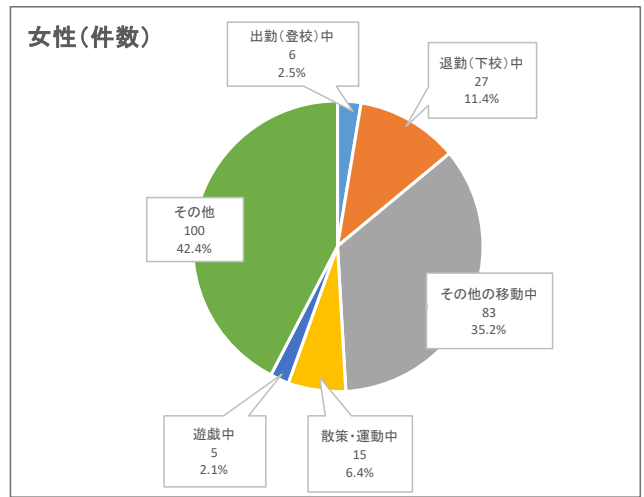
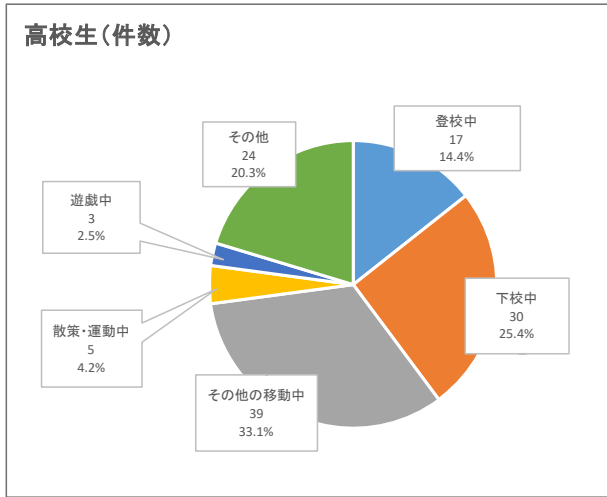


5 発生時の被害者の行動(学識別)

- 未就学児と小学生～「下校中」の被害が最も多いが、「その他の移動中」や「遊戯中」の被害も多い。
- 中学生～登下校中の被害が約半数を占め、小学生と比べ遊戯中の発生が減少している。
- 高校生～小中学生と比べ、登下校中の被害割合が減少し「その他の移動中」の被害が多く発生している。
- 女性～子供と比較して、出勤中・退勤中の被害割合が減少し、「その他(在宅中、買い物中等)」の被害割合が増加している。

※「その他の移動中」は、「登校(出勤)中」「下校(退勤)中」「散策・運動中」以外の外での移動中をいう。「その他」は、上記以外の在宅中や店舗内での買い物中等をいう。





6 月別・子供女性別発生状況

- 令和5年は、女性は1月と4月、子供は4月から6月にかけて、多く被害に遭っている。
- 例年、夏休み期間は子供の被害が減少する傾向にあり、令和5年も例年と同様に被害が減少している。
- 女性の被害は1月中及び、春季・秋季に被害が多く発生し、冬季に向けて減少傾向となっている。

